

令和4年度障害福祉サービス（生活介護） は〜と・ピア事業報告

1 日常生活の援助・支援

個別支援計画に基づき、健康的で豊かな生活を維持していくための基本となる身体介護や、生活介護、コミュニケーション援助・支援等を個々の利用者に合わせ行った。

[日 課]

時 間	適 用	時 間	適 用
8:45～	送迎車出発・通所 日常活動	13:30～	日常活動・帰りの会
10:00～	朝の会	15:30～ ただし、水曜日は 15:00	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 サービス支援会議のため)
12:00～	昼食・休憩		

2 事業目標の達成状況

(1) 本人の思いに添った個別的な支援

個別的ニーズは、利用者の生活環境等により変化している。特に入所施設やグループホームを新たに利用した利用者については、一人ひとりのニーズを確認しながら、ニーズに応える支援を継続的に行っている。また、自立生活への思いを抱く利用者や、高齢化に伴うサービス利用変化(介護保険との併用)も見られるため、より個別的な支援の必要性が高まっている。

(2) 支援指針に則った支援の質の向上

支援指針の重要項目については、SNSを活用し毎月の支援目標として掲示する。常に支援員が支援指針を身近に見る環境を作ることで、支援指針を意識付け支援の質の向上に努めた。全職員が支援指針を意識する事で、非常勤職員にも意識付けが図られ、質の向上にも繋がった。

(3) 職員間のより良い情報共有の実現

利用者の生活環境変化や利用状況に伴い、情報共有する機会が増えている。ご本人や家族との情報共有はもちろんの事、施設間での伝達も密にしていく。今年度より、情報伝達においては記録媒体のみならずSNSを活用した情報共有を開始。常勤職員・非常勤職員を問わず、支援員間全体で情報を把握できる体制を整え、よりわかりやすい共有に努めた。

3 健康管理

(1) 定期健康診断

新型コロナウイルス感染により、保健センターが利用できず令和5年1月に予定

(2) 嘱託医による問診

実施回数	実施月
4回	4月、7月、10月、1月(つつじ)、5月、8月、11月、2月(だるま)

4 防災(避難)訓練の実施状況

実施回数	実施の内容
2回 (8、9月開催)	は〜と・ピアの利用者・職員及び文京藤の木荘職員による屋外への避難訓練を実施

5 社会生活の支援

(1) 買い物(つつじルーム)

買い物を体験することで社会経験の拡大を促すことを目的に行うものとする。
創作活動に対する意欲や期待感を持つことができるように買い物に出かけ、材料を購入した。

実施回数	利用施設	内容
162回 (4、5、6、7、8、9、10、11、12、1、2、3月)	ライフ大塚店・セブンイレブン他	消耗品・創作活動材料・食品購入

(2) 公共施設の利用

図書館やコンサートなどの身近な公共機関や公共行事を利用することによって、生活経験を広げることを目的とし実施した。

実施回数	利用施設	内容
150回 (4、5、6、7、8、9、10、11、12、1、2、3月)	大塚公園みどりの図書館	図書閲覧・借本・返却
0回 ※新型コロナ感染予防の為参加せず	シビックミニコンサート	ミニコンサート鑑賞会 (つつじルーム)

6 生産活動

作業をすることを通し、働く喜びや社会構成員としての自覚を促すことを目的に実施し、また工賃及び売上等は生活介護事業は～とピア管理運営要綱に基づき、利用者の参加回数等に応じて等分に配分した。

(1) 室内作業(だるまルーム、つつじルーム)

作業	作業内容	備考
内職作業	無地のインソールにロゴの型を、専用の機械にて圧着を行っている。	しごと・しあわせラボ (東京都文京区)
	主にカードやピンバッジの封入、シール貼り等を行い梱包を行なう。商品の運搬も行なっている。	株光希 (東京都台東区)
	パーツ2個に紐を通し、紐の両端を縛る	ジョブ～る文京

(2) 公園清掃(つつじルーム)

事業名	事業内容	備考
大塚公園清掃	毎週月・金の2日間、利用者及び支援員で区立大塚公園の清掃を行った。	文京区からの受託事業

(3) 槐の会館内清掃(つつじルーム)

事業名	事業内容	備考
館内清掃	毎日、槐の会館内の清掃、及びゴミ収集を行った。	文京槐の会

(4) 販売活動(つつじルーム)(だるまルーム)

事業名	事業内容	備考
産直野菜利用者自主製作品の販売	・業者への注文 ・入荷したじゃが芋・玉ねぎの袋詰めと販売 ・売上管理を行なった。	(有)ヤオタツ
	手漉きはがきやデコパージュ石けん、ポチ袋を製品化した。	自主製品
	社会福祉法人全国心身障害児福祉財団の協力のもと、財団ビルの一角を使用し、販売活動を行なった。	(社福)心身障害児福祉財団
	新型コロナウイルスの影響により、販売活動は見送り。	シビックセンター 地下2階

7 創作的活動

自己選択・自己決定の機会を設定し、利用者の主体性や個性、意欲(知識、経験、習慣)、潜在能力を引き出すことを目的として実施した。

項目	内 容	
ルつ ーっ ムじ	図画工作 ・ 手芸	・編み物・アイロンビーズ・プラ板・水耕栽培 ・折り紙・ペーパークラフト
ルだ ーる ムま	自主製品	・絵の消えない石鹸作り・香り袋・アクセサリ作り・ぼち袋・手形アート・サンドアート ・手すきハガキ・雑巾作り・お手玉・キーホルダー作り・スパッタリング

8 レクリエーション

(1) 個別外出活動

新型コロナウイルス感染予防の為、実施せず。

(2) その他の活動

基礎体力の増強を図ると共に身体機能の回復訓練として、水泳訓練・体操・ストレッチ等を行った。

体 操	体力・筋力の維持を目的として毎朝の体操を行い、また、個人の能力に応じてストレッチ・マッサージ等を実施した。		
スポーツ			
体操・ストレッチ (だるま)	回 数	参 加 者	実 施 場 所
	24回 (各月2回開催)	利用者 9人 職員 6人	だるまルーム
体操・ストレッチ (つつじ)	回 数	参 加 者	実 施 場 所
	40回 (毎週月曜日開催)	利用者 5人 職員 2人	食堂
水泳訓練 (だるま)	回 数	参 加 者	実 施 場 所
	0回	利用者 0人	都障害者総合スポーツセンター
	※新型コロナウイルス感 染予防の為、実施せず	職員 0人 講師 0人	
ボッチャ公式 ルール体験(だ るま)	回 数	参 加 者	実 施 場 所
	0回	利用者 0人	都障害者総合スポーツセンター
	※新型コロナウイルス感 染予防の為、実施せず	職員 0人 講師 0人	
プール活動 (つつじ)	回 数	参 加 者	実 施 場 所
	0回	利用者 0人 職員 0人	文京総合体育館 文京スポーツセンター
すくーるガード	大塚小学校PTAと連携し、近隣地域の防犯活動、地域交流を行った。		

9 年間行事実施状況

月	内 容 ※(参加利用者人数)
4	合同家族会
5	合同誕生日会(つつじ:20名、だるま:8名)
6	
7	合同誕生日会(つつじ:18名、だるま:7名)
8	
9	合同誕生日会(つつじ:20名、だるま:9名)
10	合同運動会
11	合同誕生日会(つつじ:20名、だるま:9名)
12	クリスマス忘年会
1	
2	
3	合同誕生日会(つつじ:22名、だるま:10名)

10 通所者数及び職員数 ※各月1日現在

(1) 通所者数

定員35名

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
区分6	10	10	10	10	10	10	
区分5	15	15	14	14	14	14	
区分4	7	7	7	7	7	7	
区分3	1	1	2	2	2	2	
合計	33	33	33	33	33	33	
区分 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分6	10	10	10	10	10	10	120
区分5	14	14	14	14	14	14	170
区分4	7	7	7	7	7	7	84
区分3	2	2	2	2	2	2	22
合計	33	33	33	33	33	33	396

(2) 職員数

種別 \ 月	3月現在	
職員	施設長	1
	サービス管理責任者	1
	支援員	6
	計	8
非常勤	支援員	14
	事務員	2
	嘱託医	1
	看護師	1
	理学療法士	1
	整体師	1
	運転手	3
計	23	

(3) 入退所状況

① 入所

入所年月日	性別	年齢	入所前状況	障害支援区分
令和4年4月1日	男	18	王子特別支援学校	4
令和4年5月11日	女	34	榎本クリニック (デイサービス)	3

② 退所

退所年月日	性別	年齢	退所後状況	障害支援区分
R4.4.22	女	21	青梅学園かすみの里 (生活介護)	5

11 相談援助実習生の受け入れ

受入数	性別	学 校 名
6名	男4、女2	東京福祉大学、東洋大学

12 介護等体験

受入数	性別	学 校 名
42人	男	東京大学、帝京大学、帝京平成大学、日本体育大学、武蔵野大学、日本大学、文京学院大学
	女	東京大学、帝京大学、帝京平成大学、清泉女子大学、日本体育大学、武蔵野大学、文京学院大学、立正大学

13 ケース会議実施状況

開催回数	主 な 会 議 内 容
25回開催 (6-7月、12-3月)	(1) 利用者の状態の把握 (2) それぞれの基本的ニーズの把握 (3) 課題の整理 (4) モニタリング

14 家族会の開催状況

開催回数	主 な 会 議 内 容
1回開催 (4、2月)	(1) 施設運営について (2) 行事計画について (3) その他

※つつじルーム・だるまルーム合同開催、各ルーム毎の開催は新型コロナにより開催見送り。

15 送迎

利用者や保護者の高齢化や障害の重度化に対応、または身障手帳の交付を受けている者等に、法人所有の自動車による送迎を実施した。

	利用人員	送迎時間
朝	24人	午前8時45分～午前9時45分
夕方	25人	午後3時30分から午後4時45分

水曜日の帰りの送りは、午後3時から午後4時15分